

## 趣旨説明

大学評価コンソーシアム幹事  
神戸大学 企画評価室 准教授

浅野 茂

# 大学評価担当者集会



・九州大学が世話人となり大学評価担当者集會を2007年に開催し、今年で6回目となる。

- ・相互交流の場
- ・評価にいかに対応するか
- ・評価を評価で終わらせない
- ・元気の出る評価

・大学評価担当者集會は2年前から大学評価コンソーシアムが開催。

・これまでの九州大学さんが何とかしてくれる「会」から、「みんなで少しずつ力を出し合う」方式を目指し、今年は会場を神戸大学に移して開催。

ただいま、ご紹介にあずかりました神戸大学・企画評価室の浅野でございます。

本日は暑い中、大学評価担当者集会 2012 に多くの皆様にご参加賜り、御礼申し上げます。

先ほどの開催校あいさつに続き、神戸大学所属の私がこの場に立たせておりますが、本日は、本集會を企画・運営しております、大学評価コンソーシアムを代表してご挨拶及びご説明させていただきます

す。

本日のプログラムの説明に入ります前に、ご参加いただいております皆様のなかには、大学評価担当者集會に初めてご参加いただいている方がいらっしゃいますので、このイベントの趣旨とこれまでの実施経緯を簡単に説明させていただきます。

まず、経緯から説明いたしますと、こちらに記載しておりますように、2007年に第一回を九州大学の箱崎キャンパスで開催いたしました。そのきっかけとなったのは、同大学の小湊先生が呼びかけ人となってくださり、大学評価情報室の全面的な協力を得て、これまで毎年開催してきました。開催当初は、国立大学の評価担当部門に所属する教職員が中心となって、認証評価及び法人評価にどのように対応していくか、どのように取り組んでいるのかといったことを、20～30名で集まって議論、共有しておりました。その後、参加者のネットワークを活かして、徐々に公立及び私立大学の評価担当者の方にも、回を重ねるごとにご参加いただけるようになり、現在、150名規模のイベントに発展しております。

次に、開催趣旨に関しましては、さきほど述べましたように、設立当初から致しますと想定を超える範囲で拡大してきておりますが、開催の趣旨としては、こちらに列挙しております点を引き継いでおります。そのひとつに、相互交流の場というのがありますが、ここにご参加いただくことで、みなさまのネットワーク形成の場として活用いただきたいという思いがあります。特に、評価に関しましては、国公立問わず、実務面での情報の蓄積が少ないうえ、学内でも浸透していない状況があり、評価担当者は様々な問題に直面することになります。その際、どのように対

応していくのか、ということをごここで形成したネットワークを活用していただきながら、効果的な情報を得てきていただき、日常の業務につなげていただければという思いがあります。そして、実際の評価業務を遂行していくうえで、評価を単なる報告書作成業務として捉えるのではなく、その結果を改善に結び付けていく、あるいは課題を次の計画に反映していくなどして、評価を評価で終わらせないということをご皆様と共有したいと考えております。そうすることで、評価が大学の運営において重要な役割を担うことを学内で認知されれば、評価担当者がやりがいを覚え、元気の出る評価につながっていくものと考えております。

なお、主催しております大学評価コンソーシアムに関しましては、2年前に発足し、初期の大学評価担当者集会に参加していたものが中心となって運営させていただいております。まだまだ、組織として十分な機能は果たせておりませんが、後ほどご説明いたしますプログラムに入れております総会において、今後の活動方針等について皆様にお諮りいたしますので、そちらで忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。

開催場所に関しましては、発足から昨年まで、世話人である九州大学さんの全面的なご支援により、九州大学で開催してきましたが、今年は「みんなで少しずつ力を出し合う会」の試みとして、会場を神戸大学に移しております。また、本集会に共通しているのは、一般的なセミナーのように受講していただくということではなく、みなさまと議論しながら一緒に考えていく、さらには我々主催者側も、みなさまとの活発な議論を通じて学ばせていただき、一緒にコンテンツやノウハウを作り上げていきたいと考えております。したがって、みなさまの積極的な議論への参加をお願いいたします。

## プログラム (9/6)

❧

**14:00 - 17:00 分科会**

**第一分科会「評価とIR：データ分析編」**  
会場：瀧川記念学術交流会館

**第二分科会「初めて評価を担当される方へ」**  
会場：3階 会議室A

**第三分科会「自己評価能力を高めるための目的・計画と指標の作り方」**  
会場：3階 会議室B

以上の趣旨を踏まえ、本年の大学評価担当者集会のプログラムを構成させていただいております。

まず、第一分科会は、3年シリーズの2年目の企画として設定しております。1年目にあたる昨年は、評価を中心に学内外から様々な情報を収集する際にどのような問題があるのか、それをどのように克服していいのか、といった点を参加者によるグループワークで

進めました。2年目にあたる今年は、収集した情報を分析する際の問題点を、特に皆様にとってなじみの深い自己評価書を通じて読み解いていただくという趣旨で企画させていただいております。そのための題材として、架空の大学の概要及び自己評価書を準備させていただき、この後のグループワークにおいて、計画と進捗状況の記載の問題点や進捗管理するうえでの分析の視点な

どを議論していただく予定です。評価を活かした大学運営およびその支援のために、評価の実務担当者、評価経験者、およびその関連業務を行う者に何ができるのか、ということを考えていただき、架空の大学の目標、自己評価、データを用いて、「目標に照らした評価（現状分析）」をどのように行えばよいのか、という演習を行います。この演習を通じて、手元にあるデータから「問い」を立て、その「答え」を探すというような評価（IR）業務スキルの向上につなげていただければと考えております。

次に、第二分科会については、大学評価の実務経験がほとんど無い初心者を対象に、「評価とは何か」という基本的な観点に基づき、自大学で自己評価書を作成する際に求められる着眼点・発想法・留意点を身につけていただくことを目的としています。大学評価では、まず大学諸活動の現状把握を行い、その結果を通じて自大学の特徴や課題を明らかにし、そのうえで特徴をさらに伸ばしたり、課題を改善する活動への支援を行ったりします。そのような活動をつうじて、大学諸活動に対して社会からの理解を促進することにつながりますので、本分科会では、基本的な部分を講義形式で行い、受講者主役型の演習を通じて、内容理解の定着を図りますので、積極的な参加を期待しております。

最後に、第三分科会については、目的や計画の達成度を途中段階で把握（または確認）し、最終的に適切な評価が行えるよう、それらの関係を整理するための手法である **Evaluability Assessment**（以下、「EA」という。）について学びます。この EA の枠組みの根底にある計画の達成度の途中段階での把握（モニタリングないしチェック）のための手法を用いて、自己評価能力を向上させるための基本的な視点を学ぶとともに、計画立案段階で現行の課題や問題を可能な限り把握し、適切な指標等の設定を行うためのワークショップを行います。そのうえで、どのように目的や計画を組み立てれば良いのか、また、どのような指標を設定して進行管理を行うのか、ということについての理解促進を図ることを目指しています。

## プログラム (9/6)

❧

---

**17:15 – 18:00 全体会**  
会場：瀧川記念学術交流会館

**18:00 – 18:30 大学評価コンソーシアム総会**  
会場：瀧川記念学術交流会館

**18:30 – 20:30 情報交換会**  
会場：瀧川記念学術交流会館

分科会終了後には、それぞれの分科会での議論の内容や取りまとめ成果について、全体で共有するための全体会を設定させていただいております。そのあとに、本イベントの主催組織である大学評価コンソーシアムの総会を開催させていただき、今後の活動方針、幹事の選任等についてお諮りさせていただきます。そして、本日の最終イベントとして、情報交換会

を設定させていただいておりますので、分科会以外のネットワーク作りの場として、あるいは分

科会及び全体会で議論できなかったことについて議論を深めていただく場として活用いただければと考えております。情報交換会に関しましては、当日参加も受け付けさせていただけることができますので、みなさまの積極的な参加をお待ちしております。

## プログラム (9/7)



10:00 - 12:00 神戸大学主催シンポジウム  
「学習成果を重視した評価への対応」

会場：神戸大学百年記念館 六甲ホール

13:00 - 16:00 エンrollment・マネジメントに関する勉強会

会場：神戸大学百年記念館 会議室A

明日のプログラムに関しては、こちらにありますように午前に神戸大学主催のシンポジウム、午後に大学評価コンソーシアム主催の勉強会を設定させていただいております。

前者のシンポジウムについては、8月末に公開されました学士課程の質的転換に係る答申を踏まえ、多くの大学関係者の関心事である「学修時間の把握及び学習成果の測定」について、政

策立案者、評価団体、大学関係者の異なる立場から講演いただき、その内容を踏まえたパネルディスカッションを予定しております。

後者の勉強会については、米国の大学における IR 部門の主要業務であり、最も強みを発揮しているとされるエンrollment・マネジメントを取り上げます。本勉強会では、理論的な側面よりも実践的な側面を重視し、日本の大学においてエンrollment・マネジメントを先進的に推進されている2大学に事例紹介をお願いしております。事例紹介では、講演者の所属校の単なる取り組みにとどまらず、学生の入学から卒業までの様々な諸状況を把握し、学生の学びを促進するための対応を行う担当者がどのように課題を見つけ、解決してきたのか、という経験を中心にご紹介いただく予定です。また、講演終了後には、参加者の皆様に質問票に疑問等をご記入いただき、個別質問を中心に多めの時間を取って、質疑応答を行っていただきます。

## お願い



- ❧ 分科会など大学評価担当者集会の各種イベントの内容、成果は原則的に公開となります。ご発言、成果物、記録用写真などもwebサイト等で公開させていただきますので、あらかじめご承知おきください。
- ❧ 1日目、2日目ともに参加者アンケートを実施させていただきますので、ぜひともご協力ください。
- ❧ (毎度ながらのお願いとなりますが) 携帯電話の通話や動作音等については、回りの参加者のみなさまにご配慮ください。

以上が、両日を通じてのプログラムとなりますが、3点ほどお願いがありますので、簡単にポイントを説明させていただきます。

まず、1点目についてですが、大学評価担当者集会のために準備させていただいている資料、ご議論いただく内容及びポスター等の取りまとめの成果については、原則公開とさせていただきます。冒頭の趣旨説明でお話しいたしましたよ

うに、評価については、特に実務面でのノウハウの蓄積が乏しい現状がございますので、本集会の成果物を公開することで、多くの皆様に参考にしていただけることを願っております。この点について、みなさまのご理解及びご協力、よろしくごお願い申し上げます。

次に、2点目に関しましては、企画内容の検証及び来年の企画の参考等にさせていただくため、アンケートを準備させていただいております。皆様からの率直なご意見が次の企画内容を充実していくうえでは不可欠ですので、お手数おかけいたしますが、ぜひともご協力方、ごお願い申し上げます。

最後の3点目に関しましては、基本的なマナーに関わる部分ですので、説明は省略いたしますが、この点についても、ご協力方、よろしくごお願い申し上げます。